**平成28年度第1回大阪府日本万国博覧会記念公園運営審議会記録《要旨》**

○日時　　平成28年９月２日（金）１６：００～１７：３０

○場所　　万博記念公園事務所

○出席委員等　 平野会長、権野委員、玉置委員、中瀬委員、南雲委員、山下委員

○事務局　　府民文化部副理事　ほか

＜万博記念公園の概要　説明＞

＜質疑応答＞

**玉置委員**

私は、おおさかカンヴァスの審査員もしているが、作品の設置場所等については、調整できたのか。

**事務局**

はい。太陽の塔の前の広場が非常に人気があり競合したが、設置場所等の調整も終了した。

**平野会長**

78作品の応募があったということだが、全国や海外からも応募があったのか。どういった国からか。また、その中で選ばれた作品はあるのか。

**玉置委員**

日本全国から応募があった。海外からは昨年、オーストラリアから応募があった。この一件のみである。

**権野委員**

カンヴァスの審査員の方は、アート系の方が多いのか。

**玉置委員**

審査員５人のうち、３人が非アート系で、２人がアート系。

他に、今年はアート系の特別審査員も１人入っている。

＜太陽の塔耐震改修工事等及び今後の運営体制　説明＞

＜質疑応答＞

**玉置委員**

自然文化園の入場者数213万人のうちの、海外の方の数は分かるのか。

**事務局**

具体的な数字は不明。

インバウンドについては、平成28年度の上期（１～６月）で、訪日外国人が全国で1,171万人、大阪だけでも450万人ときいている。これからは、外国人を呼び込む工夫が必要。万博公園でも、多言語表示を行っており、ＰＲして訪日外国人の方を呼び込む工夫を引き続き行っていきたい。

**玉置委員**

１日２日だけでも定点観測でリサーチしてはどうか。

万博公園は、府民、国民に使っていただける、人気のある公園であることは間違いない。太陽の塔あるいはEXPO’70というのは日本人にとっては、非常に強烈なアイコンだが、海外の方にどれぐらい知られているのかが疑問。

太陽の塔のオープンにあたっては、海外の方へ広報することが大事。海外向けの宣伝展開、広報展開が必要。インバウンドについてのリサーチと広報を進める必要がある。

**平野会長**

今のご意見は非常に重要。サンプリング調査も必要。

**事務局**

過去には、アンケート等で調査を行っている。

それとは別に、スマホとかのＧＰＳデータを、ビッグデータとして利用できるよう国が提供している。そういった情報も集めながら、分析等もしていきたい。

発信については、今年度大阪観光局と連携して、大阪の無償の四ヶ国語ガイドブックを年4回配布するなど、している。

**中瀬委員**

入園者数は伸びているが、いつまで伸ばすのですか。量も大切だが、適正な規模について議論されると良いと思う。

海外の博物館では、来られた方がメモをとっている。日本ではほとんど見られない。どういった方がこられているかが大事。

もう一つは、インバウンドとともに、地域コミュニティを大事にされると良いと思う。

万博公園が先進的にやっていただければと思う。

**事務局**

万博公園には、様々な客層のお客さまに来ていただいており、数を追えば良いというわけではないが、一つの数値として、2020年には300万人を目指したいと考えている。東側のエリアには、様々な仕掛けを行い、多くのお客様を呼び込んでいきたい。森の緑や日本庭園については、大切に守っていきたい。

外国のお客様については、万博公園には多様なコンテンツがあることを発信する必要がある。太陽の塔をきっかけにさらにいろんな発信をやっていきたい。

指定管理者の募集の際には、広報展開についても提案を求めたいと思っている。

地域コミュニティについては、現在も地域のボランティアの方にご協力いただいており、引き続き、しっかりやっていきたい。

また、園内の事業者の連携組織もつくった。その中でもいろんな取組みを考えていきたい。

**権野委員**

地域の活動の中で、太陽の塔の写真を使いたいと思っても、制約がある。もっと気軽にオープンにすることは難しいか。青年会議所で地域の活動をしている。太陽の塔の写真をオープンで使用させていただけることは難しいのか。

**事務局**

著作権の関係があり、無制限にとはいかないが、ケースバイケース。我々も色々な形でＰＲしたいと考えており、ご相談いただければと思う。

**南雲委員**

万博公園は年間パスポートを使った近隣のリピーターとともに、外周をジョギングされる方も多い。南地区運動施設の整備は非常にありがたいが、新たなジョギングコースの設定もしていただければと考えている。

名神の下のトンネルだが、サッカーやイベントがあると、非常に混雑する。また、トンネル付近には柵もあり、非常に狭く、通りにくい。イベント終了時には、そこを、自転車と歩行者が一斉に通る。

**事務局**

周辺道路の整備については、所管の茨木土木事務所と連携していく。名神の高架下については、当初から我々も懸念しており、安全対策についてはイベント主催者等に働きかけている。

トンネルの付近の柵については、過去に大きな事故があったため、設置している。

**玉置委員**

サッカースタジアムに限らず、来場者が増えているので、アクセス及び交通インフラについて、将来的な検討や将来展望が必要かもしれない。

**平野会長**

そういう意味で適正な人数というのも、今後重要になってくると思う。

**山下委員**

今日初めて参加させていただいて、こんなに活気づいている委員会は初めてで、非常に驚いた。

指定管理制度の導入については、万博公園に対する思いを、どれだけ引き継げるかが課題であると思う。業務内容や目的達成のチェックについて、数字評価だけなのか。

万博公園の目的を集客施設として捉えるのか、それとも万博の理念であった「人類の進歩と調和」などのテーマや公園の在り方をとらえるのか。単なる集客施設として捉えると、大規模テーマパークと延々競争していかなくてはならない。

１０年間はすごく良いと思うが、これだけの規模を１０年間安定的に経営できるとしたら、かなり大きな企業でないと受けられない。しかしその企業が業者じゃなくてパートナーになり得るのか。行政側もパートナーとして、しっかりパートナーシップを組んでいかなければならない。

指定管理者の業務に対しての評価委員の制度というのは、どのように設定されるのか。

**事務局**

この万博公園運営審議会とは別に、指定管理者評価委員会を設け、入場者数や経費等、経営面とともに、ソフト面についても評価していただく。

一方で公園の性格、あるいは目的、意義を守り、達成していくということに関しては、大阪府による管理も必要だと考えている。日本庭園や森の管理は府が引き続き、しっかり管理していくし、万博公園のあるべき姿、将来像については、この審議会で引き続きご議論いただきたいと考えている。

**平野会長**

指定管理者制度を導入するが、無駄を省くなど単なる経営の効率化だけでなく、指定管理業者には、万博公園の理念に沿って管理させていくことが大事。

**事務局**

万博公園の理念は、昨年策定した将来ビジョンがベースになると思っている。

万博公園をしっかり守り、発展させ、良いものにするとともに、緑については未来に残していく。

太陽の塔など、大阪のあるいは日本の誇れる資産・遺産として、しっかり残していく必要がある。そういったものも活かしながら、指定管理もいれて工夫してまいりたい。

**中瀬委員**

選定委員会と評価委員会は常置か。一度きりか。

**事務局**

大阪府の場合、施設ごとに選定委員会をおいている。今回は１０年の長期なので、その間の委員の入れ替えの可能性はあります。

**中瀬委員**

指定管理者の業務のチェックについてはそれで良い。大阪府が行う業務をどうしていくかも若干気になる。しっかりチェックしていって欲しい。

**平野会長**

決められた時間が参りましたので、本日はこれで終了させていただきます。ありがとうございました。